

盛岡市医師会の概要

盛岡市は岩手県の中央に位置し、慶長2年（1597）に南部氏が盛岡城の築城に取り掛かり街づくりが始まった。明治22年4月、全国39都市の一つとして市制を施行、現在人口は約29万弱となっている。県庁所在都市として、東北新幹線や秋田新幹線、東北自動車道などの結節点という優位性を生かして北東北の観光、物流、情報面での拠点都市である。

平成20年4月1日には中核市に移行した。盛岡市医師会の歴史は、明治20年（1887）にさかのぼる。当時市内在住の医師25人が盛岡医会を結成したことに始まるとされ、すでにその歴史は1世紀を超えている。この盛岡医会を前身として、明治40年4月、新医師法公布に対応して盛岡市医師会が設立され、昭和22年11月1日、新憲法下に小田島権五郎を会長として新制「盛岡市医師会」が発足した。

昭和55年には、市医師会館が建設され、当医師会が同年4月、会員有志が昭和35年に創設した社団法人盛岡准看護学院を継承して盛岡市医師会附属盛岡准看護学院とし、同時に附属盛岡高等看護学院を開設した。平成9年11月には高齢者等の在宅医療充実のために訪問看護ステーションを平成12年4月には居宅介護支援事業所を開所した。

平成25年4月1日、新公益法人制度の施行に伴い、一般社団法人へ移行し、現在に至っている。このような伝統の上に立って、会員一人ひとりが医師としての使命感を失うことなく医療の理想を追求し、地道な診療、保健活動に励んでいることは、本会が誇りとしているところである。この間、歴代の会長、役員、会員及び職員には、多くの市民、盛岡市をはじめとする行政機関、関係各団体のご理解とご協力をいただきながら、地域の保健医療の向上と福祉の増進のために活発な医師会活動を行っている。

令和元年5月より、吉田耕太郎が第16代目の会長となり現在に至っている。本会の会員はA会員（開業会員）237人、B会員（主として勤務会員）409人、C会員（研修医を含むA、B以外の会員）39人、合計685人である。

役員は会長1人、副会長3人、理事18人、監事3人であり、理事は総務部、地域医療部、在宅医療部、検診部、学幼保医部、母子保健・思春期保健対策部、保険部、産業保健部、広報部、救急医療対策部、学術部、勤務医部、医療安全・医療事故予防対策部、看護学院部に分担して活動している。

医師会内には診療部会があり、内科医会（通称 廿日会）、外科・整形外科医会（同 刀隣会）、小児科医会（同 育幼会）、産婦人科診療部会（同 桃花会）、眼科医会（同 ひとみ会）、皮膚科診療部会（同 一二日会）、泌尿器科医会（同 北西会）、耳鼻咽喉科臨床研究会（同 三八会）、麻酔科医会が活動している。

また、厚生労働省からの委託事業として盛岡地域産業保健センターを設置し、産業保健相談窓口を開設している。職員は、事務局10人、看護学院14人、訪問看護ステーション13人、合計37人である。（令和3年6月現在）

〒020-0013 岩手県盛岡市愛宕町18番6号

TEL : (019) 625-5311

FAX : (019) 624-1350 / (019) 651-9822

E-mail : ishi01@morioka-med.or.jp